

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「あおぞら・日本株式フォーカス戦略ファンド<愛称:しゅういつ>」は、去る9月11日に第17期の決算を行いました。本ファンドは主として、厳選したわが国の株式に集中投資を行うことで、長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行っております。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、法令に基づいて運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

あおぞら・日本株式フォーカス戦略ファンド

愛称 **しゅういつ**

追加型投信／国内／株式

交付運用報告書

第17期

決算日

第17期 2023年9月11日

作成対象期間(2023年3月11日~2023年9月11日)

第17期末(2023年9月11日)

基準価額	15,850円
純資産総額	1,431百万円
第17期	
騰落率	18.7%
分配金(税込み)合計	100円

(注1) 騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。



アンケートへのご協力をお願い
巻末(15ページ)をご参照ください。



あおぞら投信株式会社

AOZORA

東京都千代田区麹町6-1-1

■ ホームページアドレス(基準価額をご確認いただけます。)

<https://www.aozora-im.co.jp/>



■ お問い合わせ先
<お問い合わせ窓口>

050-3199-6343

受付時間:
営業日の午前9時から
午後5時まで

*お取引内容等につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○本ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。また、運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

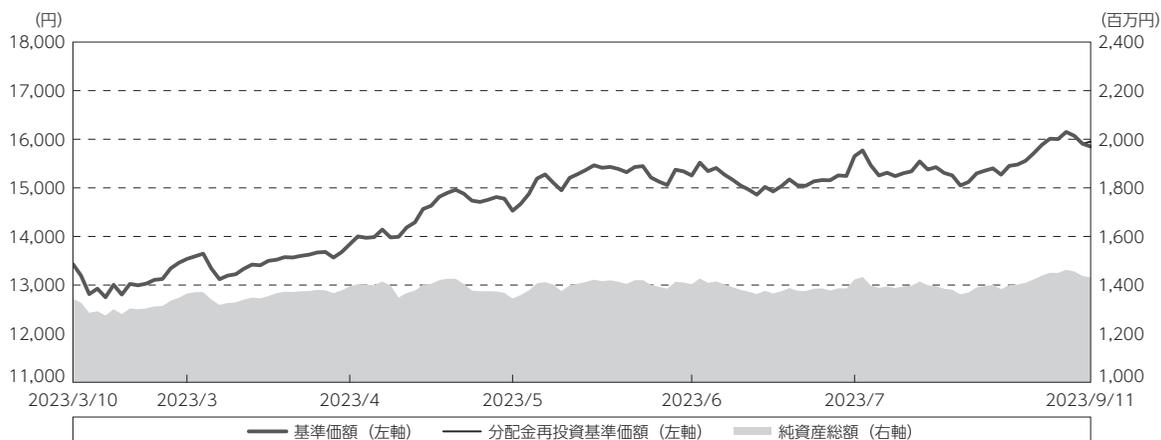
<運用報告書(全体版)閲覧方法>

上記URLにアクセス ⇒ 「ファンド情報」を選択 ⇒ 「基準価額一覧」より該当のファンドを選択 ⇒ 「運用報告書(全体版)」を選択

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年3月11日～2023年9月11日)



期 首：13,432円

期 末：15,850円 (既払分配金(税込み):100円)

騰落率：18.7% (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年3月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期末において15,850円となり、当期のリターンは18.7% (信託報酬控除後、分配金再投資ベース)の上昇となりました。

基準価額にプラス寄与した主な個別銘柄は、日立製作所(電気機器)、伊藤忠商事(卸売業)、参天製薬(医薬品)などで、マイナス寄与した主な個別銘柄は、スクウェア・エニックス・ホールディングス(情報・通信業)、第一三共(医薬品)などでした。

1万口当たりの費用明細

(2023年3月11日～2023年9月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	126	0.853	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(82)	(0.556)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(41)	(0.278)	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.019)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	20	0.138	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株 式)	(20)	(0.138)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	7	0.050	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(4)	(0.026)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(3)	(0.024)	目論見書等の法定書類の作成・印刷・届出および交付に係る費用ならびにファンドの計理業務およびこれらに付随する業務に係る費用
合 計	153	1.041	
期中の平均基準価額は、14,753円です。			

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

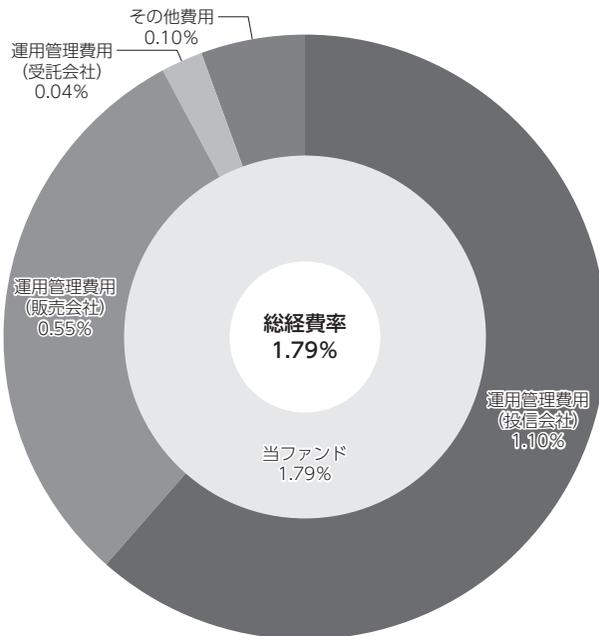
(注3) 「比率」欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点第3位未満は四捨五入しており、合計が一致しない場合があります。

(注4) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含まず。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.79%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

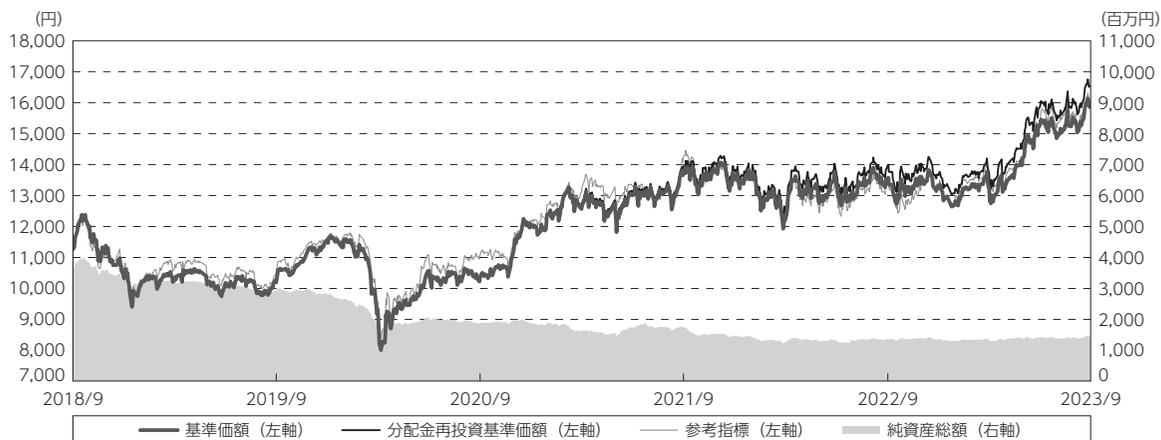
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年9月10日～2023年9月11日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の本質的なパフォーマンスを示すものです。2018年9月10日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 本ファンドの設定日は2015年3月13日です。

(注4) 参考指標はJPX日経インデックス400です。2018年9月10日の値が本ファンドの分配金再投資基準価額と同一になるように指数化したものです。

	2018年9月10日 決算日	2019年9月10日 決算日	2020年9月10日 決算日	2021年9月10日 決算日	2022年9月12日 決算日	2023年9月11日 決算日
基準価額 (円)	11,264	10,193	10,357	13,739	13,560	15,850
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	200	200	200
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 9.5	1.6	34.7	0.2	18.5
JPX日経インデックス400騰落率 (%)	—	△ 6.7	5.5	28.8	△ 5.5	19.2
純資産総額 (百万円)	3,643	2,913	1,872	1,723	1,351	1,431

(注1) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 参考指標は、JPX日経インデックス400です。

投資環境

(2023年3月11日～2023年9月11日)

当期の国内株式市場は、期を通じて全般に堅調に推移しました。期初から6月末にかけては、円安進行や日本銀行による金融緩和策の継続、国内企業の予想を上回る好業績、そしてコーポレートガバナンス（企業統治）改革の進展などを背景に、外国人投資家が積極的に日本株を買い進めたことから、大幅上昇しました。その後、今年に入ってから的大幅上昇の反動や中国の景気減速懸念から一時的に下落したものの、さらなる円安進行や良好な企業業績動向から、国内株式市場は期末にかけて再び上昇基調となりました。

そうした中、米著名投資家バフェット氏による買いが注目された卸売業や、円安が支援材料となった輸送用機器などのセクターがアウトパフォーム（参考指標を相対的に上回ること）しました。一方、中国景気への懸念が重石となった非鉄金属や金属製品などのセクターがアンダーパフォーム（参考指標を相対的に下回ること）しました。

その結果、本ファンドの参考指標であるJPX日経インデックス400は、当期間において、16.4%の上昇となりました。

本ファンドのポートフォリオ

(2023年3月11日～2023年9月11日)

<本ファンド>

運用方針に従い、「あおぞら・日本株式集中投資戦略マザーファンド」受益証券を主要投資対象として運用を行いました。当期における本ファンドのリターンは18.7%の上昇となり、参考指標であるJPX日経インデックス400を上回りました。

<マザーファンド>

マザーファンドでは、中長期的な企業収益の成長性や株主還元に対する姿勢に着目し、本源的価値に比べて割安であると判断される15～18銘柄程度の株式を厳選して投資を行ってきましたが、特に銘柄選択が対参考指標比での相対パフォーマンスにプラス寄与しました。パフォーマンスへのプラス寄与が大きかった銘柄は、日立製作所、伊藤忠商事、参天製薬でした。一方、マイナス寄与が大きかった銘柄は、スクウェア・エニックス・ホールディングス、第一三共でした。

日立製作所は、同社の事業再編後の成長戦略への評価や良好な業績動向などを受けて、株価の堅調な推移が継続しました。伊藤忠商事は、米著名投資家バフェット氏による追加投資が明らかとなったことから、株価が大幅上昇しました。参天製薬は、中国市場の回復などを背景に市場予想を上回る良好な業績を発表したことから、株価が大幅上昇しました。

一方、スクウェア・エニックス・ホールディングスは、市場予想を大きく下回る2023年4-6月期の業績発表が嫌気され、株価が大幅下落しました。今後予定されている新作タイトルの開発コストも削減されており、収益性重視の経営体質へ転換するにはまだ時間を要するとの判断から、全売却しました。第一三共は、新薬パイプラインにおいて、実施中である臨床試験の一部中間解析結果が市場期待を満たさなかった点が嫌気され、株価は下落しました。しかし、同社は乳がん治療薬「エンハーツ®」（一般名：トラスツズマブ・デルグステカン）の販売拡大が期待できることや、多くの有力な新薬パイプラインを有しており、今後も成長が継続できるとみていることから継続保有の方針です。

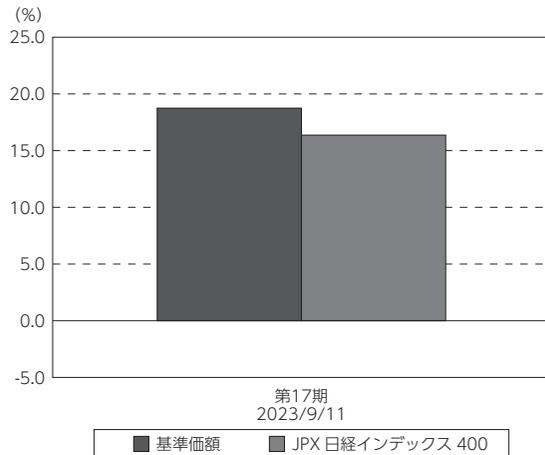
本ファンドのベンチマークとの差異

(2023年3月11日～2023年9月11日)

本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

当期の本ファンドの騰落率は18.7%となり、参考指標の騰落率である16.4%を上回りました。

当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）



(注1) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 参考指標は、JPX日経インデックス400です。

分配金

(2023年3月11日～2023年9月11日)

本ファンドの収益分配方針に従い、第17期の分配金（1万口当たり、税引前）は以下の通りといたしました。留保益の運用については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第17期
	2023年3月11日～ 2023年9月11日
当期分配金	100
(対基準価額比率)	0.627%
当期の収益	—
当期の収益以外	100
翌期繰越分配対象額	5,849

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**<本ファンド>**

今後も当初の運用方針に従い、「あおぞら・日本株式集中投資戦略マザーファンド」受益証券を主要投資対象として運用を行います。

<マザーファンド>

世界的なマクロ経済の減速懸念や、金融政策による影響や金融システム不安再燃のリスク、また先進国の企業業績のリスクを鑑みて、世界株式に対しては中立的な見方を継続しています。一方、日本株式に関しては、相対的に優位なパフォーマンスを想定しています。東京証券取引所による上場企業各社のコーポレートガバナンス改革の取組の後押しや、AI（人工知能）関連企業への長期的な成長継続期待、期待インフレ率の上昇による家計や企業の投資行動の変化により、緩やかながら息の長い市場の上昇を想定しています。

そうした中、中国経済と欧米の物価、景気と当局の政策動向の状況を注視しつつ、個別企業調査においては、2023年度の増益確度を高める価格転嫁力と、長期的な投下資本利益率を引き上げるコーポレートガバナンスの改善に注目し、銘柄選択を継続する方針です。

お知らせ

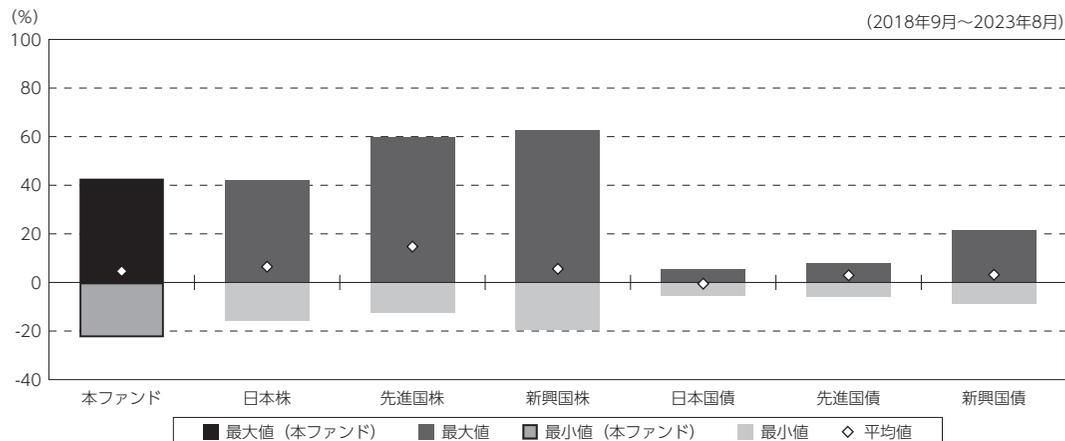
公告を掲載するURLが変更となったため、信託約款に所要の変更を行いました。
 (信託約款変更適用日：2023年4月25日)
 (変更前) <http://www.aozora-im.co.jp>
 (変更後) <https://www.aozora-im.co.jp>

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	原則として無期限	
運用方針	主として、厳選したわが国の株式に集中投資を行うことで、長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド	あおぞら・日本株式集中投資戦略マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	わが国の金融証券取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している株式を主要投資対象とします。
運用方法	ベビーファンド	①マザーファンド受益証券への投資を通じて、ファンダメンタル・ボトムアップ・リサーチにより厳選したわが国の株式に集中投資を行います。 ②マザーファンド受益証券の組入比率は原則として高位を保ちます。 ③株式以外の資産（マザーファンド受益証券と通じて投資する場合は、当該マザーファンドの信託財産に属する株式以外の資産のうち、この投資信託の信託財産に属するとみなした部分を含みます。）への投資は、原則として信託財産総額の50%以下とします。
	マザーファンド	①ファンダメンタル・ボトムアップ・リサーチにより厳選したわが国の株式に集中投資を行います。 ②株式の組入比率は原則として高位を保ちます。 ③運用の指図に関する権限をアリアンツ・グローバル・インベスターズ・ジャパン株式会社に委託します。 ④株式以外の資産への投資は、原則として信託財産総額の50%以下とします。
分配方針	分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額等の場合は分配を行わない場合があります。	

(参考情報)

○本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	本ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	42.7	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 22.6	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	4.6	6.5	14.8	5.6	△ 0.5	2.9	3.2

2018年9月～2023年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を、本ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示したものです。

※上記は、本ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。

※上記の騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。

※本ファンドの年間騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA- ボンド・パフォーマンス・インデックス国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

本ファンドのデータ

組入資産の内容

(2023年9月11日現在)

○組入上位ファンド

銘柄名	第17期末
あおぞら・日本株式集中投資戦略マザーファンド	100.0%
組入銘柄数	1銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

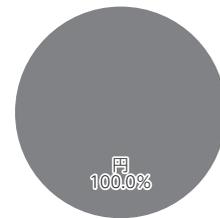
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 比率は本ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

純資産等

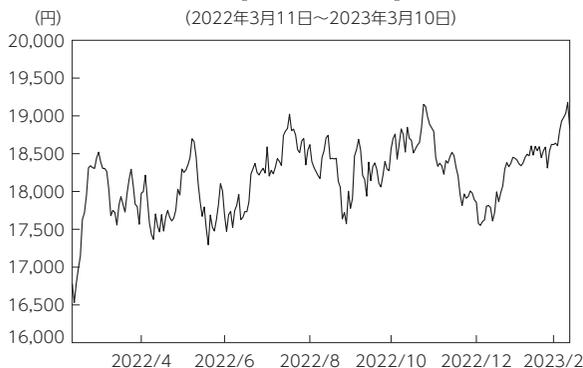
項目	第17期末
	2023年9月11日
純資産総額	1,431,493,512円
受益権総口数	903,172,107口
1万口当たり基準価額	15,850円

(注) 当期中における追加設定元本額は60,716,099円、同解約元本額は157,481,122円です。

組入上位ファンドの概要

あおぞら・日本株式集中投資戦略マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2022年3月11日～2023年3月10日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	31 (31)	0.170 (0.170)
(b) その他費用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合 計	31	0.170

期中の平均基準価額は、18,247円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2023年3月10日現在)

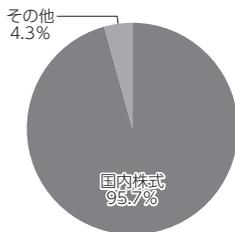
銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率
1 伊藤忠商事	卸売業	円	日本	9.1%
2 ダイキン工業	機械	円	日本	8.9%
3 参天製薬	医薬品	円	日本	8.7%
4 日立製作所	電気機器	円	日本	8.2%
5 コクヨ	その他製品	円	日本	7.7%
6 ソニーグループ	電気機器	円	日本	7.2%
7 芝浦機械	機械	円	日本	6.8%
8 T&Dホールディングス	保険業	円	日本	6.5%
9 スズキ	輸送用機器	円	日本	5.6%
10 名古屋鉄道	陸運業	円	日本	4.5%
組入銘柄数			17銘柄	

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

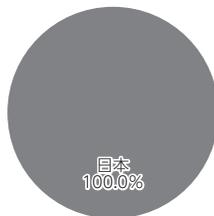
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注3) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

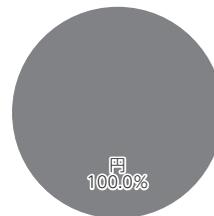
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 比率は本ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

＜本ファンドの参考指標について＞

○JPX日経インデックス400

当指数は、東京証券取引所のプライム市場、スタンダード市場、グロース市場を主たる市場とする普通株式等の中から、時価総額、売買代金、ROE等を基に原則400銘柄を選定し算出される株価指数です。当指数は、JPX総研及び日本経済新聞社によって独自に開発された手法によって算出される著作物であり、JPX総研及び日本経済新聞社は、当指数を算出する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。JPX総研及び日本経済新聞社は、当指数を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延または中断に対して、責任を負いません。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

○東証株価指数（TOPIX、配当込）

当指数は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、JPXに帰属します。

○MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）

当指数は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）

当指数は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-ボンド・パフォーマンス・インデックス国債

当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す指数です。なお、NOMURA-BPIに関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

当指数は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

当指数は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

【Webアンケートご回答のお願い】

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

ご投資いただいております「あおぞら・日本株式フォーカス戦略ファンド “愛称 しゅういつ”」につきまして、受益者の皆さまに本ファンドおよび当社に関するご意見等をお聞かせいただきたく、アンケートへのご回答にご協力をお願いいたします。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

【ご回答方法】

- ①スマートフォンからご回答いただく場合は、右記の画像を読み取っていただき、ご回答をお願いいたします。
- ②パソコンからご回答いただく場合は、以下のURLより、ご回答をお願いいたします。
URL : https://questant.jp/q/shuuitsu_202309



あおぞら投信からのお知らせ

【動画コンテンツのご案内】

弊社Webサイトにて、各種動画コンテンツをご用意しております。

◆アクセス方法

以下のリンクをクリックまたは右記の画像を読み取っていただき、弊社Webサイトへアクセスしていただき、トップページの「ピックアップ動画」をご覧くださいませ。

URL : <https://www.aozora-im.co.jp/>



マーケット解説動画やファンドの運用状況についての動画を今後とも掲載していく予定でございます。ぜひご覧くださいませ。

【公式SNSのご案内】

弊社は以下の公式SNSアカウントにて、日々情報発信を行っております。

◆アカウント情報

X (旧Twitter)

アカウント名 : Aozora_im_2014

URL :

https://twitter.com/Aozora_im_2014



ファンドの基準価額の更新や、月次レポート公開のお知らせ等を行っております。

Facebook

アカウント名 : あおぞら投信株式会社

URL :

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100086290693227>



「マーケットの見方」や「知識も漸増」といったコラムの公開のお知らせ等を行っております。

◆フォロー方法

上記URLをクリックまたは画像を読み取っていただき、各SNSアカウントへ移動後、「フォローする」をクリックしてください。または、各SNSアカウントより「あおぞら投信株式会社」を検索していただき、「フォローする」をクリックしてください。

X (旧Twitter) やFacebook以外にも、Instagramでは地域情報等の発信を行っております。ご興味のある方はぜひフォローしていただければ幸いです。

Instagram

アカウント名 : aozora_im_2014

＼皆さまからのフォローやいいね！をお待ちしております！／

